

金 沢

あすから、いしかわ総合S C

教室』（北國新聞社後援）を流したい」との声が上がった。と銘打ち、毎週水曜午後6時から約1時間、いしかわ総合スポーツセンターで実施する。バスやシュート練習のほか、鬼ごっこや縄跳びなどのレクリエーションも行う予定だ。

別宗さんは市内の福祉事業所に勤めていたことから、2019年にソーシャルフットボールの教室を開講。21年には北信越で初となる公式戦に出場できるチーム80名まで。

障害者向け教室 健常者も参加OK

みんなでフットサル

精神障害者がある人向けのフットサル「ソーシャルフットボール」の教室を市内「つなげ」で開く。別宗利哉さん(40)は、毎週水曜に練習している。チームのメンバーから「もっと多くの人と交

のつながりを育む機会と、健常者には障害者スポーツに対する理解や普及に役立つ」と話している。

現在、東武東上線の「つなげ」駅近くのフットサル場「ジョイナス金沢」を拠点に10〜40代の男女10人が週に一度の活動に励んでいる。チームのメンバーから「もっと多くの人と交

市役所「文書決



パソコンで決裁を行うを電子化する

新聞読む

野口市教 1日に4期目の任期に

つた野口弘市教育長は、北國新聞社を訪れ、

市

19年 国の法 いたり、 する様



作品の陳列作業を見守る園山さん(左)

20220405 20220407 : 北國新聞社掲載

第1回教室

障害のある人向けのサッカー「ソーシャルフットボール」の第1回教室(北國新聞社後援)は6日、いしかわ総合スポーツセンターで行われ、20〜40代の男性6人が基礎練習などに汗を流した。

ソーシャルフットボールの教室を開く別宗利哉さん(40)が、新たに健常者も参加できるようにした。初回は体幹トレーニングやボールを使い、1対1のミニゲームなど約1時間練習した。今後も毎週水曜に行う。

いしから、いしかわ総合S C

教室』（北國新聞社後援）を流したい」との声が上がった。と銘打ち、毎週水曜午後6時から約1時間、いしかわ総合スポーツセンターで実施する。バスやシュート練習のほか、鬼ごっこや縄跳びなどのレクリエーションも行う予定だ。

別宗さんは市内の福祉事業所に勤めていたことから、2019年にソーシャルフットボールの教室を開講。21年には北信越で初となる公式戦に出場できるチーム80名まで。

野口市教 1日に4期目の任期に

つた野口弘市教育長は、北國新聞社を訪れ、

作品の陳列作業を見守る園山さん(左)

北國新聞交流ホール

東武東上線でも出勤式があり、各地で赤いマフラーを着用して活動が行われた。

飲酒運転の県警 検発、昨年283件

罰金に多額、昨年1年間で検発された飲酒運転の件数は2021年10月1日現在、過去10年で最大の1313件に達した。

金沢学院大 学生が交通安全運動に

金沢学院大の学生が交通安全運動の一環として、約30台の自転車で市内の主要道路を走行し、交通安全の啓発活動を行った。

赤ちゃん

交通安全の啓発活動の一環として、約30台の自転車で市内の主要道路を走行し、交通安全の啓発活動を行った。

青木 9日、6日、9日の19時、泉紫雲閣開講

直嶋 和夫